



N.S. ニュース速報A

**NSDAP/AO : PO Box 6414
Lincoln NE 68506 USA
www.nsdapao.org**

#1090

03.02.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

第二の革命 第一巻：信仰と闘争

第3部

国家社会主義思想

国家社会主義者の思想を言葉にするのは、これまでで最も難しい問題の一つである：

"国家社会主義とは、党に体现された民族の生きる意志である"

私はこの文章でこの章を閉じることができます。この定義には、すでに、民族社会主義、独裁と計画経済、大ドイツ、人種とレーベンスラウムという考え方が含まれている。国家社会主義者にとって、計画は教義ではなく、ただ一つの目標に奉仕する生存のための補助である：

ドイツ民族と白人種の未来を確保する！

しかし、今、私が国家社会主義思想の全体について説明するならば、私は、新しいドグマを作ったり、NSDAPのプログラムを書き換えたりしたわけではないことを、まず強調しておく。また、1920年から1945年までの期間に限定した思想史を展開したいわけでもなく、長い禁酒の期間と今日の国家社会主義運動の帰結を含めて考察しているのである。

国家社会主義思想の中心にあるのは、フォルクスゲマインシャフトという知識である。フォルクとは、私たちが今でも自発的な忠誠心、つまり「帰属意識」を感じることができる、数値的に最大の自然界のシステムである。この帰属意識は、人間共同体の最小の有機的細胞である家族から、一族、村、都市、地域、そして最終的には国民へと、自然に発展していくものである。この自然な構造が存在し、そのままであれば、この民族は幸福であり、自信と自己肯定感が蔓延し、悪い時でさえも素早く、基本的に苦痛なく克服される。国家社会主義が、フォルクスゲマインシャフトの創造と形成に成功したからこそ、6年間、全世界に断固とした抵抗を示すことができたのです。国家社会主義国家は崩壊せず、最後の最後まで民衆の反乱は起こらなかった。明確な軍事的敗北のときだけ、人々は爆弾、テロ、嘘の連打に疲れ果て、倒れたのである。産業革命が始まって以来、このような国民と祖国に対する感情、国民全体の中に自分が属しているという知識は、ますます埋もれていった。第一次世界大戦の勃発まではまだ生きていたが、その後は干上がってしまった。

また、身近な生活圏への帰属意識も失われました。移動の機会が増え、近代都市の醜さがそうした感情をまったく起こさせなくなったからです。大家族は崩壊し、今日では核家族さえも近代的とは見なされなくなった。健全な国家を支える基盤はすべて失われ、あるいは暗い力の打撃を受けてよろめきつつある。このような自然の摂理の崩壊は、決して先進工業社会の不可避な展開にとどまらず、後述する隠れた世界の敵によって促進され、部分的に指示されているのである。自然の摂理の崩壊は、私たちが冷静に観察できることである。ブルジョア界によくあるように、それをどうしようもなく嘆くのはナンセンスであり、国家陣営のヴォルキッシュ研究者が好むように、それを無視するのは愚かなことである。

私たちは、ある種の権威主義的な教育独裁国家のように、これらの基盤の跡に落ち着き、拳銃を握って支配することはできません！私たちは、あらゆる場所で感じられる自然で安全な秩序への憧れを利用して、これらの基盤を新たに作り上げたいのです。古いものの残骸を管理するのではなく、新しいものを作りたいのです！したがって、私たちは国家やその形態（権威主義）に固執するのではなく、私たちの考えは全人類に向けられたものであり、全体主義なのです。

国家社会主義は、自らを権威主義ではなく、ヴォルキッシュな世界観として認識しており、したがって革命的であり、保守的でもない！国家社会主義は、エリート意識と大衆運動の奇妙な混合物である。この2つは、実際には相互に排他的である。しかし、ここには、国家社会主義がそのユニークな影響力とダイナミズムを達成することを可能にする多くの明白な矛盾のうちの1つしか見当たらない。国家社会主義運動の中で、人々は同じ種類ではなく、同じ価値を持っているという事実、小学生から学生まで、全員がお互いを尊敬し、尊重し合っているという事実、地位の誇りを知らず、無条件の同志愛だけを知っているという事実、したがって、つまり、来るべき国民共同体が国家社会主義運動の中ですでに形成されているという事実、これがこの運動を若者や自分の人生に何かが欠けていると感じる人たちにとても魅力的にしています。しかし、これはまた、この運動のもう一つの原則を説明している：

国家社会主義運動は、ドイツにおける唯一かつ無制限の権力を主張する！

それは、昨日も今日も明日も同じであった。国家社会主義は、何らかのプログラムを実行するために政権を取ろうとする政党ではなく、完全に自己主張するか、まったくしないかのどちらかである来るべき共同体をそれ自身の中に体現している。アドルフ・ヒトラーがこれを達成することができず、反動と協定を結び、エルンスト・レームを犠牲にしたことは、国家社会主義の悲劇であった。国家社会主義革命が失敗したのは、1939年の戦争勃発時ではなく、スターリングラードでも、無条件降伏の日でもなく、第二革命の放棄と1934年6月30日の最も忠実な国家社会主義者の無意味な犠

牲のためである！

この原則は、当時よりも今日、さらに強固に支持されなければならない。国家社会主義者は、民主主義の法律を遵守しているが、自分たちが権力を握っているときには、いかなる反対も許さないという事実を隠し立てしていない。国家社会主義への反対は、人民への反対であり、したがって人民に対する反逆である！

国家における無制限の唯一の権力を自らに要求し、闘争の時期にすでに運動の支部において将来の国家を形成する権利を自らに主張する党、このような党は、特別な組織原理を必要とする。他のすべての党と異なるのは、国家社会主義運動が自らに課した課題である：

それは、人民のすべての潮流、階級、身分を自らの中で和解させ、人民の心をつかみ、この人民を教育し、運動の隊列の中にすでに新帝国のモデルを形成することである。このすべてを達成できるようにするために、アドルフ・ヒトラーは、かつて自分の運動、すなわち国家社会主義ドイツ労働者党のために、総統プリンツィップ、つまり、ベストを選ぶ原則、個人のイニシアティブと責任、規律と秩序を作り出した。これは本質的に軍事的な原理であり、人や国家が直面しうる最大の例外的状況において、何千年もの間、それ自身を証明してきた：**戦争**です。

民主主義国家でさえ、軍事領域に関しては、この原則を放棄しない。しかし、民主主義者は、平和の問題は戦争の問題よりも小さく、その結果、リーダー主義よりも「より良い」として好む多数決という匿名主義がここでは適切でないと本当に信じているのだろうか。もしそうでないなら、なぜ彼らは政治を「民主化」したように、軍隊を「民主化」しないのだろうか。何とも恐ろしい、偽善的な矛盾である！

私は、民主主義の無責任な行き当たりばったりの判断より優れた軍人のリーダー原理を考え、それを国家圏に移すことを求める。それが正直で一貫している。一方、民主主義者は、多数決は神聖で実績のある秩序原理であり、不可侵でなければならないと言う。この原則に反対する者は迫害され、投獄されるが、彼らはこの神聖な原則に従って自分たちの軍隊や警察を運営しようとは夢にも思わないだろう。

民主党の皆さんに真剣に聞きます：

例えば、軍事領域と、あなたが熱心に「民主化」しようとしている国民経済の管理との違いはどこにあるのでしょうか？国家よりも軍隊を率いる方が簡単だとでも思っているのでしょうか。それとも、間違った決断に個人的な責任を負わなければならないなら、あなた方の誰も餌箱にとどまることのできないことを、あなた方はよく知っているのだろうか。有権者の決定や役員会、議員連盟の決議に頼ることができなくなり、国民の目を正直に見なければならなくなったら、あなた方の哀れな小心者ぶりが明るみに出ることを恐れないのでしょうか？あなた方はもはや国民の心を動かすものを知らない。あなた方はもはや国民に語りかけるのではなく、テレビのレンズに向かって語りかけるのだ！あなた方民主党は、これまで国家をリードしてきた中で最も嫌な生き物です！国家社会主義運動の隊列にいる若者たちは、このことを察知して、あなたたちに唾を吐きかけている！

もちろん、完璧な秩序原理など存在しないし、特に国家社会主義の総統原理は、**有能な指導的エリートの育成**という大きな困難と闘わなければならない。

アドルフ・ヒトラーの死後、もはや「あの」総統は存在しない。戦後は、総統の模造品、自分たちの虚栄心の歪んだイメージしかなかった！国家社会主義の地下組織である**NSDAP/AO (Auslands- und Aufbauorganisation der NSDAP)**は、アドルフ・ヒトラーの死後、その天才性に基づいて総統に当然属していた権威を主張できる者はいないと宣言している。政治指導者でいることは、他の者よりも多くの責任を担い、多くの業績をあげ、多くの犠牲を払うことであると。

NSDAP/AOの隊列では、総統原理が最も純粋に実現されており、おそらく第三帝国よりも優れている。この地下運動の隊列には、戦闘的なエリートが出現しつつあり、このエリートはやがて、これらの戦闘員が今日も占領共和国の牢獄を通過している我々の国民に責任を負わなければならないかもしれない。西ドイツの墮落した、責任感のない「高官」とは何の関係もない、新しいタイプの人間がここに生まれつつある。新しい主人たちはタ

フで、自分たちの信念と払わなければならなかった犠牲を誇りに思い、国民を愛し、裏切らない。彼らは迫害に耐えることができ、敵を知り、それに立ち向かうことができる：**彼らは、新しいドイツなのだ！**

国家社会主義者のフォルクスゲマインシャフトの思想は、かつて民主主義が持っていた革命や、ボルシェビズムが現在も表している革命とはまったく異なる思想を含んでいる。われわれ国家社会主義者にとって、革命といえば、無差別殺戮や血祭りや古い因縁の清算ではなく、まったく新しい始まり、ドイツ国家におけるすべてのドイツ人の融和を意味するのである。1933年1月30日の民族蜂起は、窓ガラスが一枚も割れることなく過ぎ去った。1789年の民主主義者たちの血の罪や1917年のボリシェヴィキの十月革命と比べるまでもなく、世界史上最も強力な革命の一つであったことは確かだが、最も血なまぐさい革命でもあったことは確かである！

この原則は、今日の国家社会主義運動にも当てはまります。我々の第二革命は、すべてのドイツ人を包含する、和解の偉大な申し出となるだろう！一般的な恩赦によって刑務所は空になり、すべての人に、かつての犯罪者も昨日の政敵も含め、すべてのドイツ人の新しい国家で自分自身を証明する機会が与えられるだろう。この信頼が裏切られたときだけ、国家社会主義者だけができるストライキが行われる：**素早く、厳しく、無慈悲に、徹底的に！**

犯罪は精力的に弾圧され、高官や国賊は射殺され、反ドイツ勢力は戦うことになる。新しい革命的な司法制度がブルジョア司法に取って代わり、人民法院の規約に従って、ただ一つの原則によって指導されることになる：

何が正しいかは、ドイツ国民にとって良いことなのです！

もちろん、私たち国家社会主義者は、1945年の敗北から学んだ。1933年の国家的熱狂の中で、決定的な相手である**反動**がまだ生きていることを考慮に入れなかったために、私たちは負けたのだと今日わかっています！

それは、国家社会主義を最終的に打ち破り、反逆の深淵によって世界大戦の勝利を不可能にし、その結果、ドイツ国民をその最近の歴史の中で最大

の破局に追い込んだ反応である：崩壊へ。

今日の若い国家社会主義者の心には、反動への憎しみが燃えている。ブルジョア保守派の一団は、軽快に適応する方法を知っており、新たな勝利の後でも、再び運動の隊列に流れ込み、運命が変わりそうになると、奈落の底に突き落とそうとする。このようなことは二度と起こしてはならない。何が問題かを知っている何千人もの若い闘士たちが、この誓いのために立っている！

われわれ国家社会主義者は、もはやこのグループを信用せず、彼らのサービスを利用することもないだろう。ブルジョアジーは歴史の肥溜めに属するが、未来は革命家たちのものである！私たち国民社会主義者、ドイツの愛国者、自由の戦士はみな、第二革命の理念を公言している。ドイツの自由運動がボルシェビズムを打ち砕くことができることは、1933年に証明された。ドイツ革命を完成させるために反動をも克服すること、それはエルンスト・レームの遺産であり、新しい世代の自由戦士が果たすべきものである。

国家社会主義者は社会主義者であり、すなわち、社会主義共同体へのドイツ民族の道を模索している。したがって、彼らは、現代の2つの偉大な革命的潮流の融合、すなわち、ナショナリズムと社会主義の融合を求めているのである。ブルジョア・ナショナリストと革命的社会主義者が不倶戴天の敵として対峙する限り、資本主義体制は、この敵意を自らの生存のために利用するだろう。国家問題の爆発的性質を利用するのと同様に、不利な立場にある人々の利益のために精力的に立ち上がる革命的運動だけが、この体制を克服することができる。社会主義とは階級闘争ではない。社会主義とは、まともな生活を求める、人民のすべての階級と身分の共通の闘いである！

未来の問題は膨大です。みんなで力を合わせれば、解決できるはずで

：

起業家と労働者、学生と見習い、従業員と農民は、単一の包括的な運

動の鋼鉄のバンドによって団結し、その専門家は真の解決策を求め、問題を混乱させることはない。8000万人の国民の労働力、その創意工夫、勤勉さは、すべてのドイツ人の利益のために使われる-それがドイツの社会主義である！

マルクス主義者は、資本主義システムの悪魔は生産手段の私有化であると疑っている。彼らは国有化することで、問題を解決し、より良い未来を切り開く手助けをしたと考える。しかし、基本的にすべては変わらない：

原材料は高価で希少であり、人々は働く意欲がなく、巨大な計画装置が高価な誤った決定を下し、経済問題は永久的な危機へと変化する。マルクス主義者によって管理された経済が、西洋の資本主義システムよりも有能であることを証明したことはない。多くの人々は、資本主義が最善であると結論づけ、その危機を謙虚に受け入れている。

本当に何もかも忘れてしまったのでしょうか？

国家社会主義がわずか2年で600万人の失業者を街から追い出したこと、ストライキはなく、ドイツの労働者は初めて平等な市民となり、もはや搾取されるプロレタリアではなかったこと、起業家は工場の所有者であり続け、経済の中央管理・運営はそれでも正義を保障したこと；労働者が初めて大量に海外旅行できたこと、社会的給付が模範的であったこと、あらゆる職業が尊重され、下働きをしていると思われる人を見下す人がいなかったこと、学校を卒業する資格ではなく実績が重視されたこと、ドイツ経済は全速力で走っていたが外国人労働者は必要なかったこと、ドイツは資本主義の世界経済から独立していたが誰もがうまくいっていたこと、このすべてを忘れたのかドイツ人どもよ？それがドイツの社会主義であり、国家社会主義国家のわずか6年間の平和の成果だったのだ！

私は理論家ではないし、そうなりたいわけでもない。国家社会主義経済学の入門書を出すつもりもない。しかし、国家社会主義的な国民経済の発展を構成するいくつかのポイントを簡単に照らし出したいと思います。核心的な点は、コーポラティブ国家という考え方である。国家社会主義は、さまざまな階層や階級の存在とその異なる利害を否定するものではない。し

かし、最終的にはブルジョアジーとプロレタリアートという2つの階級だけが互いに対立し、闘わなければならないというマルクス主義の声明には従わない。また、「力の自由な発揮」と呼ばれる万人の万人に対する闘争が、自動的に最善かつ最も公正な解決策を導くに違いないという資本主義の主張にも従わない。

国家社会主義は、高価な間違った決断が手に負えなくなるのを防ぐため、また、全く役に立たないものが生産され、他のものが経済的に割に合わないために生産されないのを防ぐために、経済の全体的な制御が不可欠であると考える。全体的な統制を可能にするために、国家社会主義は、「力の自由な発揮」、現在の経済の混乱に終止符を打たねばならない。すでに存在するすべての職業団体や利益団体は、客観的な線に沿って組織された大規模な機関、すなわち企業に組み込まれ、そこでは雇用者、被雇用者、国家社会主義運動の代表が等しく代表されることになる。将来、個々の市民の共同決定と共同責任は、これらの法人を通じて行われるようになり、もはや、互いに争い、互いの邪魔をする政党を通じて行われることはないだろう。

人は政党に生まれるのではなく、家族に生まれ、都市、村、地域で育ち、人生の大半を職場で過ごします。これらは、個人が発言することができ、また発言しなければならない社会の自然な組織体である。政党は不自然なもので、分裂させるものです。時代錯誤である！しかし、このような企業を通じて、国民経済全体の計画と統制が行われるのである。マルクス主義の経済政策の鍵は、生産手段の所有権である。共産主義国家における計画の混乱は、この考え方が正しくないことの十分な証明である。

資本主義経済政策の鍵は、「力の自由な発揮」である。欧米経済の危機の増大は、この考えも否定している。一方、国家社会主義経済政策の鍵は、生産手段に対する処分の力である。つまり、当該企業家は、企業の中で相互の合意のもとに行われていた国家計画の決定に従わなければならないが、したがって、もはや自分の生産手段に対する自由な処分権を持たないが、彼は所有者であり続け、したがって、よく稼ぐためによく安く働くという既得権を持ち続けるのである。

それが私たちのソリューションモデルであるドイツ社会主義です：

民間で組織された国民経済に、自由に発展する機会を与え続ける経済計画
- 国家の計画決定の枠内で。起業家が一線を越えた場合のみ、例外的に、
企業との協議の上、国家委員を任命することができる。しかし、どのよう
な場合でも、私有財産は無傷のままであり、それこそが、十分に機能する
国民経済の原動力となる。このように構築された国民経済は、ヴォルキッ
シュの生活のすべての下位部門を一つの方向に向かわせることができる。



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRITZ UND NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 26. April 2017 02.06

Der Kampf geht weiter !

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder aktiv als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenstab, Vorhut, Verfügung, Verfügung und Verfügung haben nicht vergessen, das Kreuz des goldenen Haken umarmen hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entdecken.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter und Kameradschaften als Schüler an Kampf um die Erlangung unserer rassenreinen Volk.

Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Gefahr des biologischen Volkstod ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist also nicht, das Volkstod - gegen alle wissen Volk (V) - zu begeben. Keine Mittel und Eisenrüstung, Überführung und Kameradschaft.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenstab, ob im Propagandastab, bewacht oder auf einem Schulhof, andere Art jeder Nationalsozialisten hat seine Pflicht!

Hilf Hitler!
Gerdhard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増産期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hilf Hitler!
Gerdhard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!